

まめまきかい 2月3日(火)
ももたろうの劇をしました



協同性や思考力の芽生え

劇あそびでは、子どもたちが協力し合って一つのものを作り上げていきます。物語に基づいてイメージを共有し、友達と役割を分担したり、時には意見を調整したりすることで、協同性や思考力の芽生えが育まれます。



猿って、どんななきごえだったかな？



劇の進み具合を見ながら、桃をだすタイミングを見えています！



「おこしにつけたきびだんご～ひとつわたしにくださいな～♪」子どもたちのピアノ伴奏で、劇中の歌も進めています！



劇の場面がわかり、大道具の「川」も、子どもたちで片づけます。登場人物になりきるだけでなく、こういった**役割**も子どもたち自身でやり遂げています。



豊かな感性と表現力

お話を聞いて感じたことや考えたことを言葉で伝えたり、友達と劇遊びを通して想像力を働かせたりすることで、**豊かな感性**や**表現力**が養われます。また、言葉による伝え合いを楽しむ中で、**コミュニケーション能力**も向上します。



自立心と道徳性

目標に向かって、自分がすべきことを自覚し、工夫しながらやり遂げる経験は、**自立心**を育みます。友達の気持ちに共感したり、異なる考えがあることに気づき、折り合いをつける経験は、**道徳性**や**規範意識の芽生え**につながります。



ももたろうとの対決に負けて、くやしさを表しています。劇遊びでは、役になりきって表現する楽しさを味わえる機会がたくさんあります！



